

# 取扱説明書

IMASEN xsto<sup>®</sup>

EMC-MR4 型



## 電動車椅子

ご使用前に取扱説明書をお読みください。

## EMC-MR4 について

本製品は、歩行が不安な方や高齢者の方によりスマートで快適な移動手段を提供する電動車椅子です。

特徴としては、シートの高さ調節機能やシートを常に水平に保つ機能など、実用的な機能を備えています。シートの高さ調節機能は、使用者は自身のニーズに応じて座席の高さを簡単に調整でき、さまざまなシーンや利用状況に対応できます。また、シートの角度や高さの位置をそれぞれで調整できるため、快適な座り心地を実現します。そして、より快適な生活を提供します。

# もくじ

<b>1</b>	<b>はじめに..... 1</b>	<b>4</b>	<b>組立てと分解 ..... 18</b>
1.1	本説明書の注意表示について ..... 1	4.1	パーツユニット ..... 18
1.2	コーションラベルについて ..... 1	4.2	組立て・分解方法 ..... 18
<b>2</b>	<b>構成部品と各部の名称 ..... 2</b>	<b>5</b>	<b>保管及び運搬 ..... 21</b>
2.1	構成部品 ..... 2	5.1	保管方法 ..... 21
2.2	各部の名称 ..... 3	5.2	運搬方法 ..... 21
2.3	操作ボックス ..... 3	<b>6</b>	<b>バッテリーの使用説明 ..... 23</b>
2.4	諸元・性能表 ..... 5	6.1	バッテリーに関する注意事項 ..... 23
2.5	本体サイズ ..... 6	6.2	バッテリーの充電 ..... 27
2.6	ご使用前の準備 ..... 7	6.3	バッテリーの取り付けと取り外し .. 28
<b>3</b>	<b>操作方法 ..... 8</b>	<b>7</b>	<b>メンテナンス ..... 29</b>
3.1	乗車および降車方法 ..... 8	7.1	メンテナンス及びチェック ..... 29
3.2	操縦方法 ..... 9	7.2	保証期間 ..... 31
3.3	手押し操作と電動操作の切り替え 方法15	7.3	責任について ..... 31
3.4	USB 充電ポート説明 ..... 17	<b>8</b>	<b>故障が考えられるとき ..... 32</b>
		8.1	エラーコード ..... 32
		8.2	トラブルシューティング ..... 34

# 1 はじめに

本製品は多くの機能を備えているため、使用者は意識がはっきりしていて、なおかつ、正常な思考能力を持っている必要があります。そのため、使用者は、はじめに本説明書をよく読み、必要に応じて介助者の指導のもとで使用方法を十分に理解した上でご使用ください。

## 1.1 本説明書の注意表示について

ここに示した注意事項は、危害や侵害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
|  | <b>警告</b> : 重大な事故につながります。        |
|  | <b>注意</b> : 軽い怪我や機器の損傷の可能性があります。 |

## 1.2 コーシヨシラベルについて

本製品には、事故や怪我を防ぐため注意が必要な場所にシールが貼ってあります。シールの意味は以下の通りです。

	手を挟まないようご注意ください。
	電磁放射線にご注意ください。
	物を置かないでください。

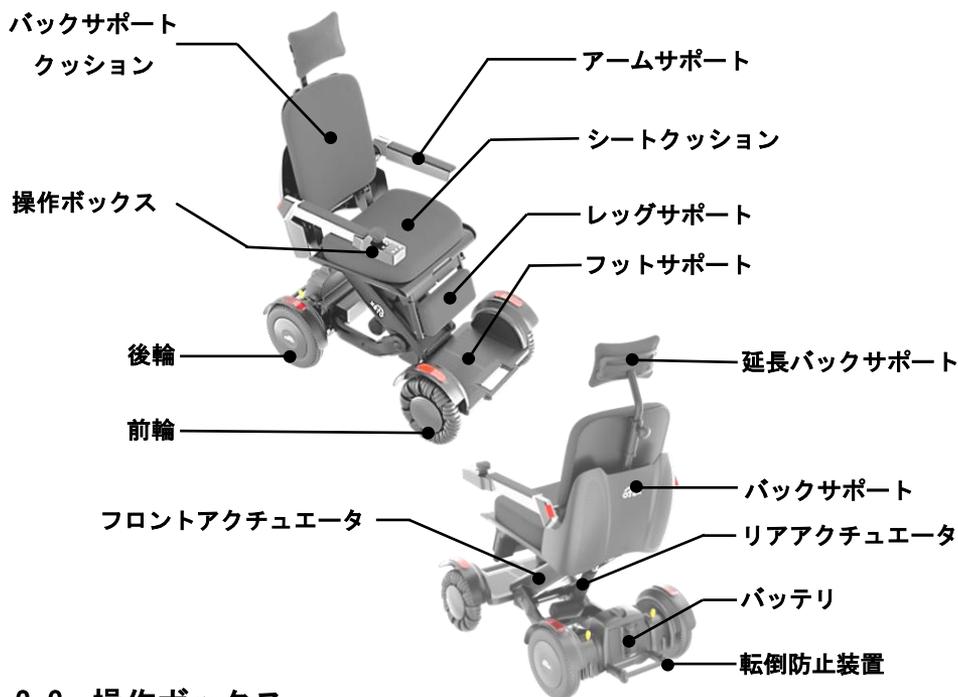
## 2 構成部品と各部の名称

### 2.1 構成部品

本製品は次のような部品で構成されています。不足品がないかご確認ください。

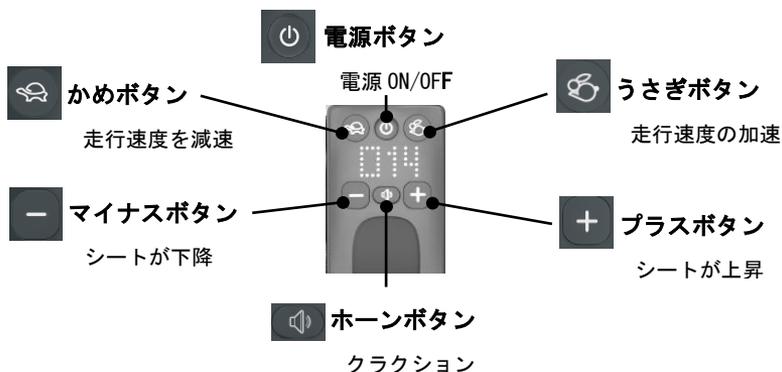
本体 	バッテリー 
取扱説明書 	充電器一式 
リモコンキー 	工具(六角レンチ・小石除去掃除機) 

## 2.2 各部の名称



## 2.3 操作ボックス

### 2.3.1 ボタンの名称と機能



## 2.3.2 操作ボックス表示画面の説明

	<p>起動後すぐの画面に表示される2桁の数字はバッテリー残量です。</p>
	<p>バッテリー残量が20%以下になると、バッテリー残量の数字の横に赤いランプが表示されます。早急に充電してください。</p>
	<p>左図のような画面上の数字は、速度を示し、1~5の段階があります。「1」が最低速度、「5」が最高速度です。 調整は、 または  ボタンで調整できます。</p>
	<p><b>-</b> と <b>+</b> ボタンを同時に約3秒間押すことで、画面に「U」が表示されます。その後、シートの高さが標準高さ（630mm高さ）にセットされます。</p>
	<p>画面の「U」表示後、さらに <b>-</b> と <b>+</b> ボタンを同時に約3秒間押すと、画面に「F」が表示されます。その後、座席が最下点までシートが下降します。</p>

## 2.4 諸元・性能表

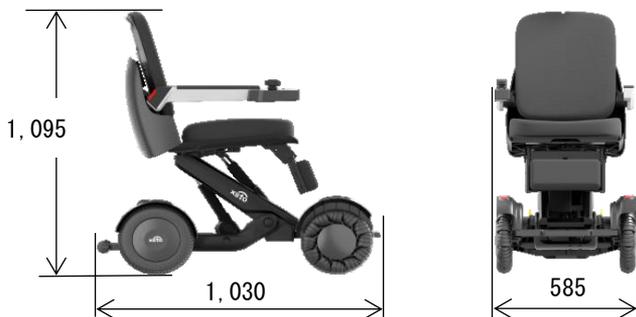
型式		EMC-MR4		
寸法 (mm)		全長1,030×幅585×高さ1,095(標準)		
折畳み時寸法 (mm)		全長1,040×幅585×高さ580		
本体重量 (kg)		本体 : 53.8 バッテリ : 2.7		
最高時速 (km/h)		6.0		
連続走行距離 (km)		15		
折りたたみ形式		折りたたみ シートクッションの取り外しが必要		
タイヤ寸法 (mm)		250		
実用登坂角度 (度)		10		
段差乗越高さ 前進時 (mm)		50		
溝乗越幅 (mm)		100		
最小回転半径 (mm)		820		
使用者最大体重 (kg)		100		
バッテリー		リチウムイオン電池 DC25.55V 15.6Ah		
充電電圧		充電器入力 100-240VAC, 50/60Hz, 2.5A Max 充電器 出力 : 29.4V, 4.0A, 117.6W		
速度	モード	ギア	前進時 (km/h)	後進時 (km/h)
	Sモード (標準)	1	1.0	0.3
		2	1.9	0.6
		3	3.3	1.1
		4	4.7	1.6
		5	5.9	2.0
	Nモード (練習)	1	1.0	0.3
		2	1.4	0.5
		3	1.9	0.6
		4	2.8	0.9
5		3.8	1.3	

**⚠ 注意** —— 最大耐荷重を超えないようにしてください。本体が損傷や転倒する恐れがあります。

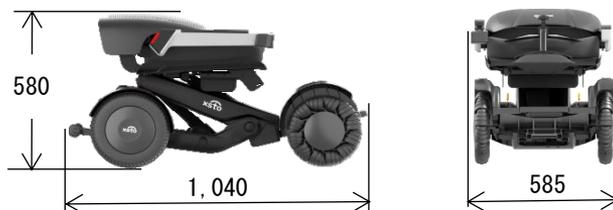
## 2.5 本体サイズ

単位：mm

標準状態



折畳み状態



最高状態



## 2.6 ご使用前の準備

ご使用前には、異常がないか確認の上ご使用ください。

### (クイックレバー)

シート裏のクイックレバーがしっかりと閉じているか確認してください。(クイックレバーの使用方法については、「4 組立てと分解」を参照ください。)



クイックレバー

### (車輪)

前輪と後輪の摩耗状態を確認してください。損傷が激しい場合や操作時の振動が異常な場合は、使用を中止し販売店にご相談ください。



### (バッテリー)

バッテリーに損傷がないか、水に濡れていないか確認してください。また、正しく挿し込まれているか確認してください。(詳細は「6 バッテリーの使用説明」をご参照ください。)



バッテリー

### (前輪ユニットと駆動ユニット)

前輪ユニットが確実に駆動ユニット取り付けられているか確認してください。(組付けの詳細は「4 組立てと分解」を参照ください。)



### (クラッチレバー)

クラッチレバーが  ロックの位置になっていることを確認してください。(詳細は「3.3 手押し操作と電動操作の切り替え方法」を参照ください。)



クラッチレバー

## 3 操作方法

### 3.1 乗車および降車方法

#### 3.1.1 正面からの乗車

①

フットサポートに足を乗せ、正面を向いてシートの上に座ってください。



②

シートの奥まで座り、バックサポートに背中をつけるようにしてください。



#### 3.1.2 側面からの乗車

①

アームサポートを左図の位置まで跳ね上げてください。



②

バックサポートに寄りかかりながら、シートの上に座り正面を向きます。



③

座ったら、アームサポートを下げます。次にシートの奥まで座り、バックサポートに背中をつけるようにしてください。



## 3.2 操縦方法

本製品はタイル面、木製の床面、地下駐車場、アスファルト道路、コンクリート道路、歩道、公園の芝生などの走行に適しています。以下の路面の運転は、適していないのでご注意ください。

石畳の路面	方向転換できない可能性があります。
砂利や泥道	スリップや沈み身動きが取れなくなる可能性があります。
階段や段差 (50mm 以上)	段差で引っかかる可能性があり、最悪の場合転倒する恐れがあります。

※50mm以下の段差は、段差に対して垂直に乗り越えてください。

**⚠ 注意**—— 雨の中での運転は、ご遠慮ください。電気系統に異常が生じ、急停車もしくはブレーキ機能が作動しなくなります。

### 3.2.1 電源の ON/OFF

電源を入れる際は、操作ボックス内の  電源ボタンを押すとウェルカムアニメーションの「XST0」という四つの英字が右から左にスライドして表示され、その後、車体識別番号の英数字 6 文字が右から左にスライドして流れます。その後、表記速度レベル 1 が表示され、しばらくするとバッテリー残量が表示され走行が可能となります。電源を切る際は、 電源ボタンを押すと電源が切れます。



### 3.2.2 移動の操作

移動操作は、操作ボックス内の操作レバーを動かすことで移動します。操作レバーを離すと自動ブレーキがかかり動作が停止します。

#### (前進)

前に倒すことで前進します。



#### (後退)

手前に引くことで後退します。



#### (右回旋)

右に倒すことでその場で右に回旋します。



#### (左回旋)

左に倒すことでその場で左に回旋します。



### 3.2.3 モード切り替え方法

本製品は、はじめてお使いになる方向けのモードが設定されています。操作に慣れるまでは、初心者向けの N モードをご使用ください。切り替えは、同時に  かめボタンと  うさぎボタンを約 3 秒押し続けてください。

	(Nモード) 初心者向けのモードで、最大速度が 4.0km/h です。
	(Sモード) 慣れてきた方向けのモードで、最大速度が 6.0km/h です。

### 3.2.4 速度レベル調整方法

走行速度は、5段階で調整ができ、「1」が最低速度で「5」が最高速度です。速度レベル調整は、 かめボタンで遅くでき、 うさぎボタンで早くすることができます。移動速度の変化は、前進後退および方向転換の速度にそれぞれで影響しますが、シートの角度および昇降速度には影響しません。

### 3.2.5 シートの角度調整方法

本製品は、坂道を登り降りの際に自動でシートが水平を保つ機能が備わっています。角度調節中は、移動速度が低下することがあります。また、登坂角度が15度を超える場合は、動きを停止して警告する音声流れます。シート角度は、手動で調整することもできます。

#### (前傾)

同時に かめボタンと マイナスボタンを押すとシートが前傾していきます。



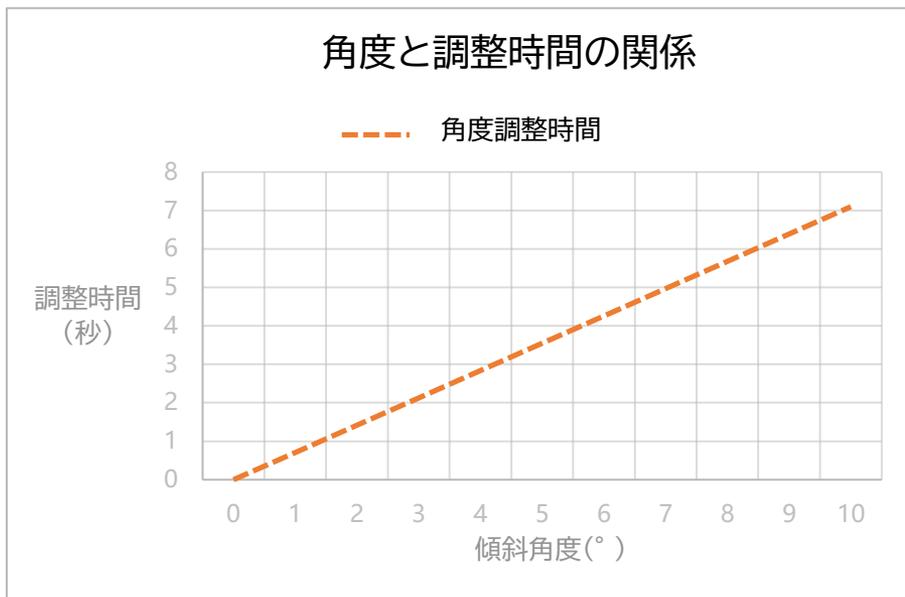
#### (後傾)

同時に うさぎボタンと プラスボタンを押すとシートが後傾していきます。



 **注意** —— 運転操作時は、シートの角度を調整することはできません。また、大きく角度をつけた状態で走行はしないようにしてください。

本製品の坂道角度を検知しシートを自動調整する機能が対応する曲線は以下の通りです。



本製品には速度制限機能が搭載されており、車体が傾斜することで機能が作動し、自動的に減速して使用者の安全を確保します。

一度速度が下がるとその速度を維持するため、平坦な道で速度を変更したい場合は、再度速度調整ボタンを使用して調整してください。

### 3.2.6 シートの昇降

本製品は、シートの昇降機能があり使用者が、テーブルの高さに合わせて食事をしたり、高い場所にある物を取ったり置いたりができます。

#### (下降)

操作ボックス内の **−** マイナスボタンを押し続けるとシートが下降していきます、離すと動作が停止します。



#### (上昇)

操作ボックス内の **+** プラスボタンを押し続けるとシートが上昇していきます、離すと動作が停止します。



#### (標準の高さ)

標準のシート高さにするには、同時に **−** マイナスボタンと **+** プラスボタンを約3秒間押すと、画面に「U」が表示され自動で昇降します。



標準高さ 595mm

本製品が標準の高さ以外の状態で起動（折り畳み状態を除く）された場合、まれに E9 エラーが表示されることがあります。解除するには、シートに座らず電源ボタン以外を押すか、レバーを軽く押すと解除することができます。解除後は、自動的にシートを調整しますので、調整が完了するのを待ってから乗車してください。

**⚠ 注意** —— 坂道を上り下りする際は、シートが高い状態で操作すると転倒する恐れがあるため、必ず標準の高さ設定にしてください。

### 3.2.7 格納機能

本製品では、シートを最下点にし、バックサポートを手動で折りたたむことでコンパクトにできます。

①

標準のシート高さから同時に **-** マイナスボタンと **+** プラスボタンを約3秒間押すと、「F」のマークが表示され自動的にシートが最下点まで下降します。  
再度、ボタンを押すと上昇します。



②

バックサポートを折りたたむには、バックサポート下後方にあるバックルを解除することで折りたたむことができます。  
シートクッションを取り外すことで、コンパクトに折りたたむことができます。



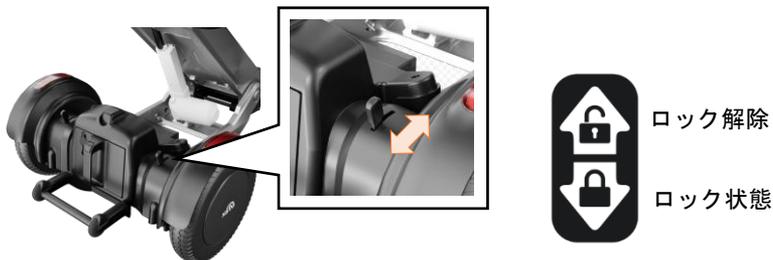
**⚠ 注意**—— 格納する際は、周りに使用者の方以外に人がいないことを確認し、格納部分に物が無い状態で作動させてください。

### 3.3 手押し操作と電動操作の切り替え方法

手押し操作と電動操作の切り替えは、クラッチレバーによる切り替えとリモコンキーによる切り替えの 2 種類があります。バッテリーが切れた際などに活用できます。

#### 3.3.1 クラッチレバーによる切り替え

電源を落とした後、手押し操作する場合は、後輪の横にあるクラッチレバーを押して  ロック解除側へ切り替えると可能です。電動操作にする際は、クラッチレバーを引いて  ロック側へ切り替えしてください。



 **注意**—— 坂道でのクラッチレバーの切り替えは、大変危険ですのでおやめください。

クラッチレバーの位置がロック解除の位置で電源を入れますと、E7 エラーが表示され走行ができません。しっかりとクラッチレバーをロック状態に入れるようにしてください。

### 3.3.2 リモコンキーの各種名称

リモコンにはアンロックボタン、ロックボタン、電源ボタンの3つのボタンがあります。



### 3.3.3 リモコンキーによる操作方法

#### (電源 ON/OFF)

リモコンキー内の電源ボタンを押すと、操作ボックス表示部に起動時のウェルカムアニメーションが表示されます。



#### (ロック)

リモコンキーのロックボタンを押すと、本体がロックされます。これにより、操作ボックスで操作できなくなります。操作ボックスの表示画面には、ロックアイコンの表示がされます。



#### (ロック解除)

リモコンキーのアンロックボタンを押すことで本体をロック解除することができます。操作ボックスの表示画面にはアンロックアイコンが表示されます。



### 3.3.4 リモコンキーの電池交換

①

リモコンキーの上蓋を、隙間に工具かませて開けてください。



②

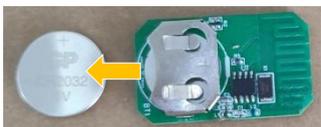
白色のソフトラバーを取り外し、基板を取り外してください。



③

ボタン電池を取り出し新しいボタン電池に交換してください。

電池型式：GR2032



④

ボタン電池がセットできましたら、逆の順序で組立て、交換が完了となります。

### 3.4 USB 充電ポート説明

アームサポート内側にある USB 充電ポートは、以下のプロトコルをサポートしています。

USB PD3.0 (PPS)



USB ポート

Huawei SCP/FCP	高通 QC4+/QC3.0
Apple 2.4A	Samsung AFC
VIVO 9V2A デュアルエンジン	MediaTek PE2.0
一部 OnePlus VOOC	OPPO DASH
最大出力 36W	

## 4 組立てと分解

### 4.1 パーツユニット

本製品は、3つの部分に分解できるため移動や収納が簡単になります。



座席ユニット



駆動ユニット



前輪ユニット

### 4.2 組立て・分解方法

本製品を組み立てる際は、まず前輪ユニットを取り付け、その後に座席ユニットの順に取り付けてください。分解の際は、座席ユニットを取り外し、その後に前輪ユニットの順に取り外してください。

#### 4.2.1 組立て方法

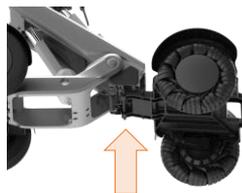
①

駆動ユニットの前方を持ち上げます。



②

駆動ユニットのシャフト部と前輪ユニットのU字型の部分を下図の矢印のように合わせてください。



**3**

駆動ユニットを下ろすと、前輪ユニットと駆動ユニットが自動的にロックされます。この時、カチッとロック音がします。

**4**

駆動ユニットのクイックレバーを前方へ開くとロックが解除します。

**5**

接続部に、電気接続部にほこりや小石などの異物がないことを確認し、座席ユニットと駆動ユニットの位置を合わせ、スライドします。

**6**

正しく挿入されていることを確認後、クイックレバーを締めてください。その後、座席がしっかりと固定されているかを確認してください。

**7**

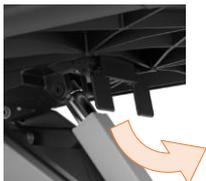
バックサポートを起こすことで、自動的に固定されます。最後に、バックサポートが確実に固定されていることを確認してください。



## 4.2.2 分解方法

①

駆動ユニットの上部クイックレバーを緩めます。



②

座席ユニットをスライドさせて取り外します。



③

取り外した座席ユニットは逆さにせず水平な面に平置きしてください。



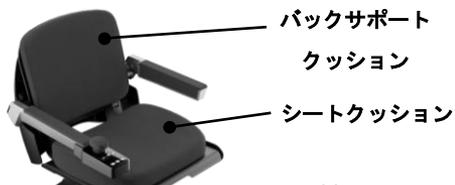
④

駆動ユニットの前方クイックレバーを引き上げ、前輪ユニットを引き出します。



## 4.2.3 クッション部分の取り付け、取り外し

バックサポートクッションおよびシートクッションはマジックテープで本体に取り付けられています。



## 5 保管及び運搬

### 5.1 保管方法

本製品を長時間使用せず保管する場合は、バッテリーを取り出してください。保管する際は、直射日光や湿気の多い場所、高温・低温の場所、ほこりが多い環境を避けるようにしてください。

### 5.2 運搬方法

本製品を移動する際は、電源を切るかバッテリーを取り外してください。運搬時には、本体を3つのユニットに分解することをお勧めします。

詳細については、4.2.2「分解方法」を参照ください。

#### 5.2.1 本体の運搬

短距離の移動では、2人がそれぞれのシート下部を掴み、本体全体を持ち上げて運ぶことができます。



## 5.2.2 駆動ユニットの運搬

駆動ユニット後方の持ち手を掴んで、駆動ユニットを持ち上げます。



## 5.2.3 座席ユニットの運搬

座席の側面に立ち、両手で座席の前後のくぼみを掴み、座席を持ち上げます。



## 5.2.4 前輪ユニットの運搬

前輪ユニットの持ち手を掴んで、前輪ユニットを持ち上げます。



## 6 バッテリーの使用説明

### 6.1 バッテリーに関する注意事項

#### (1) 保管の注意事

- ・ 長期間保管する場合、バッテリーを約 50%以上の残量に充電し、乾燥した風通しの良い場所で保管してください。また、3 ヶ月ごとに専用充電器を使用し充電してください。
- ・ バッテリーと充電器は清潔で乾燥した状態で保管し、風通しの良い場所に置いてください。腐食性物質や火源、熱源から遠ざけるようにしてください。
- ・ 充電の推奨温度範囲は 0°Cから 40°Cです。この範囲外の環境では、バッテリーの性能が低下し、寿命が短くなる可能性があります。

#### (2) 運ぶ時の注意事項

- ・ バッテリーと充電器は包装してから運送し、激しい振動や衝撃、圧迫を防止し、直射日光や雨にさらされないようにしてください。

### (3) 予防保全事項

- a) バッテリーを保管する際は、40%~60%の電池残量で保管してください。
- b) 長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに完全に充電および放電を行い、その後、バッテリーを約50%まで指定の充電器で充電してください。
- c) バッテリー内の電池を取り外しや取り付けをしないでください。  
これによりバッテリーの性能が低下する恐れがあります。
- d) バッテリーボックスは、絶対に分解、改造はしないでください。
- e) 故障の処理

故障現象	原因	解決方法
バッテリーの反応がない	バッテリー残量がない もしくは、バッテリーの劣化、故障が考えられます。	充電してください。 改善されない場合、バッテリー、充電器の故障が考えられます。修理、または交換をお願いします。
充電器のランプが点灯しない	充電器の AC プラグが正しく差し込まれていません。 充電器の故障が考えられます。	充電器の AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。 充電器、またはバッテリー交換をお願いします。
充電ができない	充電器の DC プラグが正しく差し込まれていません。 バッテリーがすでに満充電の状態です。	充電器の DC プラグとバッテリーがしっかり接続されていることを確認してください。 バッテリー交換をお願いします。

- f) バッテリーの保証期間は納品日から1年です。  
サイクル寿命：充放電サイクル500回、容量 $\geq$ 80%。
- g) バッテリーの処理方法  
バッテリー容量が50%未満の場合、バッテリーの処理は所在国の法律や規制に従っておこなう必要があります。

#### (4) バッテリー使用上の注意事項

- ・ バッテリーを水などの液体に浸さないでください。また、バッテリーを濡らさないようにしてください。
- ・ 火元や極端な高温環境下で充電しないでください。火やヒーターなどの熱源、可燃性・爆発性物質の近くでバッテリーを使用または保管しないでください。バッテリーが漏れたり異臭を発したりした場合は、直ちに火気から遠ざけ使用を中止してください。初めて使用する際は、完全に充電してからご使用ください。
- ・ プラス極とマイナス極を逆に接続しないでください。
- ・ バッテリーを火に投げ入れることや加熱することはしないでください。
- ・ 導線や他の金属物体でバッテリーのプラス極とマイナス極を短絡させないでください。
- ・ 釘や他の鋭利な物でバッテリーケースを刺したり、バッテリーをハンマーで叩いたり踏んだり、衝撃を与えないでください。
- ・ バッテリーは絶対に分解しないでください。
- ・ バッテリーを電子レンジや加圧容器に入れないでください。
- ・ バッテリーを他の機器に使用しないでください。
- ・ バッテリーを直列または並列で使用しないでください。
- ・ 高温の直射日光下、雨天、湿気のある環境で充電しないでください。
- ・ 人通りの多い廊下、避難通路、安全出口などの公的場所では充電しないでください。
- ・ 静電気の少ない場所でバッテリーを充電、使用、保管してください。
- ・ 日中の人がいる状態でバッテリーを充電してください。人が離れる際は、充電プラグを抜いてください。夜通しの充電を禁止します。
- ・ 長時間充電しても充電が十分にならない場合は、充電を停止してください。

- ・ バッテリーが異臭、発熱、変形、変色、その他の異常を示す場合は使用しないでください。使用中または充電中の場合は、直ちに電気機器または充電器から取り外し、使用を中止してください。
- ・ 極端な高温環境（直射日光や暑い日の車内など）でバッテリーを使用しないでください。バッテリーが過熱し、性能に悪影響を与え、使用寿命が短くなる可能性があります。
- ・ 過充電を避けてください。充電器のインジケーターが満充電を示したら、すぐに充電器を取り外してください。
- ・ バッテリー液が漏れて目に入った場合、こすらずにすぐに水で洗い流し、速やかに医療機関を受診してください。迅速に処置しないと目に損傷を与える可能性があります。
- ・ 上記のような不良現象が発生した場合は、ただちに販売店へ連絡してください。

## 6.2 バッテリーの充電

専用充電器を使用して充電してください。充電中は走行できません。  
充電中は充電器のランプが赤く点灯し、充電が完了すると緑に変化します。



充電器の入力電圧 100-240VAC 50/60Hz 出力電圧 : 29.4V 4A
--

①

バッテリーの防塵カバーを開けてください。



粉塵カバー

②

充電器の DC プラグをバッテリーへ差し込んでください。



-  **注意** —— 充電器プラグは絶対に濡らさないでください。
-  **注意** —— 完全に充電がなくなるとパフォーマンスが低下し、バッテリーが劣化する可能性があります。
-  **注意** —— 使用後は、充電をするようにしてください。充電に関する操作マニュアルに従ってください。コンセントは濡らさず乾燥した状態を保ってください。

## 6.3 バッテリーの取り付けと取り外し

### (取り付け)

①

矢印の方向にバッテリーを挿しこみ、「カチッ」という音が聞こえるまで確実に差し込んでください。



②

バッテリーが確実に装着できているか確認するため、バッテリーのハンドルを左図の矢印の方向へ引き、外れないことを確認してください。



### (取り外し)

①

バッテリーの取り外しボタンを押しながら、バッテリーハンドルを握ります。



②

そのまま、引き抜きます。



**⚠ 注意** —— 充電器や充電コードに油污れ、油脂、洗剤、希釈剤、または他の損傷を引き起こす可能性のある物質から遠ざけてください。

**⚠ 注意** —— バッテリーは、室温が0℃から35℃の範囲内で保管し、湿気や強い磁気から遠ざける必要があります。

## 7 メンテナンス

### 7.1 メンテナンス及びチェック

以下の手順に従い、本体を清潔に保ってください。

- ・ 本体に埃がついている場合は、湿った布で拭き取ってください。本体を水で洗淨する際は、注意してください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。石油系溶剤の使用は避けてください。
- ・ 高圧洗淨機は使用しないでください。

**⚠ 警告** —— 車輪は水で洗淨してください。本体には水を直接かけないでください。感電、ショート、腐食のリスクがあります。

**⚠ 注意** —— 溶剤やベンゼン、その他の有機溶剤を使用しないでください。高圧洗淨機も使用しないでください。これらは色あせ、変形、劣化、損傷の原因となる可能性があります。

**⚠ 注意** —— スピーカーに鋭利な物を挿入しないでください。コントローラが損傷する恐れがあります。

**⚠ 注意** —— 市販の潤滑油や油性防錆剤、ワックスなどを本体の可動部品や接続部に塗布しないでください。これらの物質の粘性により、砂やその他の異物が装置に入り込み、故障の原因となるリスクがあります。

**⚠ 注意** —— 濡れた手で機器を操作しないでください。

**⚠ 注意** —— 完全に放電した状態で長期放置した場合、バッテリーの容量が低下し、走行距離が短くなったり、バッテリーの寿命が短くなったりします。

**⚠ 警告** —— バッテリーやタイヤ、シート類などの消耗品は、交換が必要となった時は、販売店に連絡してください。

以下の項目は6ヶ月ごとに点検することをお勧めします。

### (車輪)

前輪と後輪に亀裂やへこみ、摩耗し楕円形になっていないかを確認してください。もし亀裂やへこみ、または深刻な摩耗が見られる場合は、販売店に連絡してください。



### (転倒防止装置)

転倒防止装置に亀裂やひび割れがないか確認してください。ひび割れが見つかった場合は、販売店に連絡してください。



### (各種ネジ部)

ネジが緩んでいる場所はないか確認してください。もし緩んでいる場合は、付属の工具にて締め直してください。



## 7.2 保証期間

保証期間は、ご購入日から1年間を保証します。

ただし、以下の原因によって生じた破損は、保証の対象外とします。

- ・ 誤った操作による破損や本体の過負荷使用した場合
- ・ 意図的に破損させた場合
- ・ 車輪やその他付属部品の自然摩耗の場合
- ・ 不適切なメンテナンスをした場合
- ・ 本体の改造、及び機器や付属品の不適切な使用をした場合
- ・ バッテリーの不適切な充電をした場合

保証期間内に以下のいずれかの状況が発生した場合は、材料費及びサービス料金を請求します。

- ・ 消費者の使用、保守、保管の不適切さによって生じた破損
- ・ 本体分解によって引き起こされた損傷
- ・ シリアルナンバーが一致しない場合

また、保証期間を超過した製品についても、引き続きサービスを提供します。

## 7.3 責任について

以下の状況において発生した損害について、メーカーおよび販売元は一切の責任を負いません。

- ・ 不適切な操作、操作マニュアルに従っていない操作をした場合
- ・ 許可なく機器を修理、分解、またはその他の操作をした場合
- ・ 本体の専用部品以外の部品を使用した場合
- ・ 本体の構成部品を許可なく取り外した場合
- ・ 過負荷での操作、電力不足での操作をした場合

この説明書の内容は、製品の品質向上や技術仕様のアップグレードに伴い変更される場合がありますが、事前に通知する義務は負いません。

## 8 故障が考えられるとき

### 8.1 エラーコード

操作ボックスの液晶に点灯する赤色のランプは、エラー状態や警告を示しています。



エラーコード	原因	解決方法
E0	操作レバーの中立異常、または操作ボックスハーネスの断線の可能性が考えられます。	操作ボックスの電源ボタンの入・切を行ってリセットいただき改善しない場合は、操作ボックス交換が必要です。
E1	モータの通信異常が考えられます。	コントローラとモータの接続ハーネスが緩んでいる可能性があるため、販売店に連絡してください。
E2	角度調整機構の接続異常が考えられます。	角度調整機構の接続不良、または基盤事態の故障が考えられます。
E3	左モータ部の異常が考えられます。	左モータの接触不良、または左モータ交換が必要です。
E4	右モータ部の異常が考えられます。	右モータの接触不良、または右モータ交換が必要です。
E5	前側のアクチュエータの異常が考えられます。	アクチュエータの接触不良、またはアクチュエータ交換が必要です。

E6	後側のアクチュエータの異常が考えられます。	アクチュエータの接触不良、またはアクチュエータ交換が必要です。
E7	モータ部のクラッチレバーがアンロック（手押し）状態になっている、またはモータ内部の異常が考えられます。	クラッチレバーを確実にロック側へ切替てください。改善されない場合には、モータ交換が必要です。
E8	温度異常が考えられます。	一度操作を停止して、しばらくして温度が正常になったら、エラーは解除されます。
E9	標準の高さ以外の状態で起動（折り畳み状態を除く）もしくは、基準値外の高さの状態にされた場合、表示されません。	シートに座らず電源ボタン以外を押すか、レバーを軽く押すとエラーは解除されます。解除後は、自動的にシートを調整しますので、調整が完了するのを待ってから乗車してください。

## 8.2 トラブルシューティング

症状	チェック及び解決方法
本体が起動しない	バッテリー残量の表示が正常かを確認し、充電残量が少ない場合は充電してください。 バッテリー残量が十分にもかかわらず起動しない場合は、販売店に連絡してください。
バッテリーが充電できない	販売店に連絡してください。
停止しない	操作レバーが物に引っかかり本体が停止しなくなった場合は、操作ボックス部の電源ボタンを押して電源を切ってください。本体が緊急停止します。物を取り払い、再度電源を入れることで通常にご使用いただけます。
ボタンの機能に異常がある場合	操作ボックス部のボタンに不具合が発生した場合は、販売店に連絡してください。
モータから異音聞こえる場合	モータから異音がある場合、まずは本体に人が乗っていない状態で本体を走行させてください。異音が持続する場合は、左右どちらから異音が発生するか確認し、販売店に連絡してください。





**製造元**

**xsto**<sup>®</sup> XSTO CO.,LTD.

📍 東京都千代田区神田佐久間町 3-21 インターアクトビル 3F

☎ 03-5829-9357

✉ xsto@future-world.co.jp

---

**販売元**

**株式会社今仙技術研究所**

**岐阜県各務原市テクノプラザ 3-1-8**

**〒509-0141**

**TEL (058) -379-2756**

**FAX (058) -379-2754**

**E-mail star@imasengiken.co.jp**